

日本医療メディエーター協会甲信越支部設立 10 周年記念講演 ご案内

甲信越支部代表 高木洋行

(松本市立病院 院長)

甲信越支部が設立され今年 10 周年を迎えます。2008 年 8 月 30 日に開催した設立シンポジウムが、まるで昨日のことのようによろしく思われます。和田先生が整理され言葉にしてくださいました医療メディエーションの概念に深く共鳴し、勉強を始めた頃でした。医療の現場には、様々な葛藤が存在することを改めて認識し、まず受け止める大切さを知りました。対話を紡ぐことで、自らがインタレストに気がつきエンパワメントされていく過程は、まさにケアの本質そのものだと感じました。自分は何ぞ医療を職業としているかの真髓に触れる事ができるほどの納得がありました。

10 年が経ち、患者さんのコンフリクトが減ったわけではありません。患者さんと医療者の溝がなくなったわけでもありません。医療メディエーションの限界を感じることもしばしばです。ただし、医療職全員がメディエーションのスキルを持つことの大切さと、コンフリクトマネジメントの重要さが医療の現場に浸透していることを強く感じます。

今年、10 月 27 日に設立 10 周年記念講演を開催します。5 人の講演者をお呼びし、この 10 年を振り返ります。現状と課題を学び、明日の医療メディエーションを考えたいと思います。

詳細は案内をご覧ください。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

講師：永尾 るみ子 (医療事故被害者家族 Heals 代表)

5. 医療メディエーションの意味 ～今までとこれから～

講師：中西 敦美 (山形大学医学部総合医学教育センター准教授)

6. 日本医療メディエーター協会甲信越支部 10 年のあゆみ

講師：高木 洋行

(松本市立病院院長 日本医療メディエーター協会甲信越支部代表)

日本医療メディエーター協会甲信越支部 事務局

〒390-1401 長野県松本市波田 4417-180

(松本市立病院 医療安全管理室内) 担当：大月

TEL: 0263-92-1012 FAX: 0263-92-1012

E-mail: jahskousinetu@gmail.com

日本医療メディーエーション協会甲信越支部設立 10 周年記念講演会

日 時 平成 30 年 10 月 27 日 (土) 14:00~17:00 (開場 13:30)

導入編(差分研修兼)の方々の研修後に開場となります。

場 所 まつもと市民芸術館 小ホール

〒390-0815 長野県松本市深志 3 丁目 10 番 1 号

*記念講演の参加のみの方は、無料となります。

1. 医療メディーエーションの生成と展開

～なぜ医療メディーエーションが求められたか～

講師：和田 仁孝 (早稲田大学法科大学院教授)

2. 医療事故被害者の望み

～被害者・家族にとっての医療メディーエーション～

講師：菅俣 弘道 (医療事故被害者家族)

3. 医療事故後の当事者(医療者)の思い

～医療メディーエーションのもたらしたもの～

講師：渡邊 両治 (東京都済生会中央病院 医療メディーエーター)

4. 患者・家族、医療者 双方の立場からの学び

講師：永尾 るみ子 (医療事故被害者家族 Heals 代表)

5. 医療メディーエーションの意味 ～今までとこれから～

講師：中西 淑美 (山形大学医学部総合医学教育センター准教授)

6. 日本医療メディーエーター協会甲信越支部 10 年のあゆみ

講師：高木 洋行

(松本市立病院院長 日本医療メディーエーター協会甲信越支部代表)

日本医療メディーエーター協会甲信越支部 事務局



〒390-1401 長野県松本市波田 4417-180

(松本市立病院 医療安全管理室内) 担当：大月

TEL: 0263-92-1012 FAX:0263-92-1012

E-mail: jahmkousinetu@gmail.com



日本医療メディエーター協会甲信越支部設立10周年記念講演会

いま、求められる 医療メディエーション



医療対話は相互信頼の糸を
どう紡いできたか



平成30年10月27日(土)
14時(開場 13時30分)

まつもと市民芸術館 小ホール

●基礎編差分研修(導入編)の方は、開場 12時30分となります。

一般公開・参加無料

患者さんと医療者が、ともに寄り添いあえる温かい医療現場を願って10年。その歩みを振り返りながら、医療の対話について一緒に考えてみませんか？

和田仁孝

早稲田大学法科大学院教授
日本医療メディエーター協会代表理事

中西淑美

山形大学医学部総合医学教育センター准教授

永尾るみ子

医療事故被害者家族 Heals 代表

菅俣弘道

医療事故被害者家族

渡邊両治

東京都済生会中央病院医療メディエーター

高木洋行

日本医療メディエーター協会甲信越支部代表
松本市立病院院長

主催：日本医療メディエーター協会甲信越支部

後援：松本市 長野県 一般社団法人 長野県医師会 一般社団法人 松本市医師会 一般社団法人 山梨県医師会 一般社団法人 新潟県医師会
公益社団法人 長野県看護協会 一般社団法人 長野県臨床工学技士会 一般社団法人 長野県診療放射線技師会
一般社団法人 長野県臨床検査技師会 一般社団法人 長野県薬剤師会 一般社団法人 松本薬剤師会 長野県病院薬剤師会

問い合わせ

松本市立病院 医療安全管理室内

日本医療メディエーター協会 甲信越支部事務局 大月

TEL.0263-92-1012